

「石川県の結核対策におけるゲノム解析の有用性の検証」

オプトアウト

(研究期間：令和 7 年（2025 年）4 月 1 日～令和 10 年（2028 年）3 月 31 日）

石川県保健環境センター（研究責任者：中村幸子）は、結核菌のゲノム解析に関する研究を行っています。

研究の目的

結核の患者数は減少したものの、全国では外国生まれの患者の増加がみられ、高齢者施設等における集団感染事例も散見されます。

本研究は本県の患者由来結核菌における NGS によるゲノム解析結果と疫学情報の比較検討及びその有用性を検証し、県の結核対策における「分子疫学解析体制」の整備（事業化）へ向けての基礎資料とし、石川県における結核の拡大防止策を強化することを目的としています。

研究の方法

結核分子疫学調査は結核の感染源・感染経路等の究明に寄与する重要な調査であり、法的には感染症法第 15 条に基づく積極的疫学調査（感染症の発生の状況、動向および原因に関する調査）の基本項目の一つと位置づけることができます。石川県では結核分子疫学調査のために、県の通知に基づき事業として結核菌の菌株を収集及び保管を行っています。本研究では、事業で収集した菌株のうち以下の菌株を対象としてゲノム解析を実施します。

①令和 6 年度～7 年度に収集する全菌株

②先行研究（平成 28 年度～30 年度）にて VNTR が一致した株

③平成 31 年度～令和 5 年度において、行政検査にて VNTR を実施し、一致した菌株

ゲノム解析結果は保健所の行った疫学調査結果と比較し、有用性を検証します。

結核菌の遺伝情報を調べるもので患者様自身の遺伝情報を調べるものではありません。個人情報情報は匿名化されていますので、患者様の個人情報情報は保護されます。

この研究に参加するかどうかは、患者様の自由意志です。参加しなかったことにより不利益を被ることは一切ありません。また、撤回も可能です。その場合は、患者様本人もしくはその代理人の方が下記の連絡先にお申し出ください。

※本研究に関する問い合わせ先

研究責任者：石川県保健環境センター 健康・食品安全科学部細菌グループ 中村 幸子（なかむらさちこ）

TEL：076-22-2011 FAX：076-229-1688

E-mail：hokan-04@pref.ishikawa.lg.jp

用語の説明

【疫学調査】：法に基づき保健所により実施される結核患者等への聞き取り調査。

【VNTR】：菌の遺伝子の中の反復配列と呼ばれる領域の特徴を調べることで、菌の遺伝子型別を特定し、比較菌株との異同性を判定する。感染伝播の流れを推定できない。偶発的な一致がある。

【ゲノム解析】：菌の全ての遺伝子配列を一括して解析する。感染伝播の流れなどを詳しく理解できる。